

八戸工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	総合英語C(5107)	
科目基礎情報						
科目番号	0032		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	演習		単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	産業システム工学専攻環境都市・建築デザインコース		対象学年	専2		
開設期	後期		週時間数	後期:15		
教科書/教材	Getting Global!: Engineer Your Future with English (Tsujimoto, Noguchi, Miyama et al., 2022): Kinseido					
担当教員	横田 実世					
到達目標						
In this class, students will prepare for handling the situations in English where practical communications are required in their career as engineers when effective communications are needed. Students will be able to use skills learned in the Advanced Course English A & B classes to expand their ability to comprehend and practice the usage of English. Topics will include, but are not limited to telephone conversation, manual reading and development, business E-mails, summaries of data and graphics. Students are required to prepare and study for class, and participate in classroom activities. An English dictionary will be needed for the class.						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1 語彙・文法の知識がある	Understand English writings and contexts well (80% of achievement); Able to express their opinions and discuss given topics clearly and concisely		Understand English writings and contexts fairly (60% of achievement); Able to provide their opinions and carry on a brief discussion with minimal errors		Understand English writings and contexts poorly (50% of achievement); Fail to provide their opinions and carry on a brief discussion	
学科の到達目標項目との関係						
ディプロマポリシー DP5 ◎ 地域志向 ○						
教育方法等						
概要	Students will understand and practice the usage of English, based on the topics presented in the textbook (Getting Global! Engineering Your Future with English; Kinseido). Topics include but not are limited to telephone conversation, manual reading and development, business E-mails, summaries of data and graphics, and research presentation. Students are required to prepare and study for class, and actively participate in this class.					
授業の進め方・方法	Classes will be conducted primarily in English with a focus on the textbook. Prior to a class, students are responsible for reading the text and checking the words they don't know. During the class, they are required to discuss the topic and share their opinions. In addition, homework and/or a short test related to the topics will be given each week. Please bring an English dictionary to the class. The evaluation of this class is based on midterm (30%), final exam (40%), and others (i.e., mini-tests/assignments, 30%).					
注意点	Before classes: Read the textbook and check the words you don't know. During classes: Active participation in English is required. After classes: Review what you have learned and explore other aspects of the class.					
授業の属性・履修上の区分						
<input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応		
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	Chapter 1: Telephone 1	電話の対応		
		2週	Chapter 2: Business E-mail	メールの読み方・書き方		
		3週	Chapter 3: Telephone 2	正確な情報を得る		
		4週	Chapter 4: Business Letter	ビジネスレターを読む		
		5週	Chapter 5: At the Reception Desk	受付の英語		
		6週	Chapter 7: Company Profile	会社について説明する		
		7週	Chapter 8: Product Advertisements	新製品広告を読み解く		
		8週	Midterm	到達度試験①		
	4thQ	9週	Chapter 9: Your job	自分の仕事を説明する		
		10週	Chapter 10: Product Specifications	製品の仕様書を確認する		
		11週	Chapter 12: Operating Instructions	操作マニュアルを理解する		
		12週	Chapter 19: Preparation for Meetings	会議の準備をする		
		13週	Chapter 20: Data and Graphs	グラフを解説する		
		14週	Chapter 21: Presentation 1	プレゼンテーションで役立つ表現		
		15週	Chapter 22: Presentation 2	スライドを活用する		
		16週	Final Exam	到達度試験②		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	4	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	4	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	4	

				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	4		
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	4		
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	4		
				説明や物語などの文章を毎分100語程度で聞き手に伝わるように音読ができる。	4		
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	4		
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	4		
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	4		
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	4		
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	4		
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	4		
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	4		
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	4		
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	4		
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	4		
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	4		
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	4		
			実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	4			
	工学基礎	グローバル化・異文化多文化理解	グローバル化・異文化多文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。	4		
				異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。	4		
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	4		
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	4		
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	4		
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	4		
				円滑なコミュニケーションのために図表を用意できる。	4		
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディランゲージなど)。	4		
				他者の意見を聞き合意形成することができる。	4		
				合意形成のために会話を成立させることができる。	4		
				グループワーク、ワークショップ等の特定の合意形成の方法を実践できる。	4		
				書籍、インターネット、アンケート等により必要な情報を適切に収集することができる。	4		
				収集した情報の取捨選択・整理・分類などにより、活用すべき情報を選択できる。	4		
				収集した情報源や引用元などの信頼性・正確性に配慮する必要があることを知っている。	4		
				情報発信にあたっては、発信する内容及びその影響範囲について自己責任が発生することを知っている。	4		
				情報発信にあたっては、個人情報および著作権への配慮が必要であることを知っている。	4		
				目的や対象者に応じて適切なツールや手法を用いて正しく情報発信(プレゼンテーション)できる。	4		
				あるべき姿と現状との差異(課題)を認識するための情報収集ができる。	4		
複数の情報を整理・構造化できる。	4						
特性要因図、樹形図、ロジックツリーなど課題発見・現状分析のために効果的な図や表を用いることができる。	4						

			課題の解決は直感や常識にとらわれず、論理的な手順で考えなければならぬことを知っている。	4	
			グループワーク、ワークショップ等による課題解決への論理的・合理的な思考方法としてブレインストーミングやKJ法、PCM法等の発想法、計画立案手法など任意の方法を用いることができる。	4	
			どのような過程で結論を導いたか思考の過程を他者に説明できる。	4	
			適切な範囲やレベルで解決策を提案できる。	4	
			事実をもとに論理や考察を展開できる。	4	
			結論への過程の論理性を言葉、文章、図表などを用いて表現できる。	4	

評価割合

	試験	提出物・小テスト	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	30	0	0	0	0	100
基礎的能力	70	30	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0